

## 2018 年度第 4 回関東学連総会議事録

日時 2019 年 2 月 26 日(火)13:00～  
場所 慶応義塾大学日吉キャンパス  
文責 河野貴大(東工)  
出席 茨城 関東学院 慶應義塾 相模女子 千葉 筑波 津田塾 電気通信 東京  
東京工業 東京農工 一橋 横浜市立 横浜国立 早稲田 立教  
委任 十文字女子 東京理科 日本女子 実践女子  
議長 押切(東京農工)  
→全会一致(16)で承認

### 議題目次

1. 自己紹介
2. ロングセレクションについて
3. スプリントセレクションについて
4. セレクションが中止された時の対応について
5. 国際大会代表選手の扱い
6. 日本学連から
7. 来年度の新歓・ペア O について
8. 対抗戦・定例戦について
9. その他
10. 次回総会日程と議長選出

## 1. 自己紹介

割愛

## 2. ロングセレクションについて

幹事長 以下の日程でロングセレクションを行うことを承認してもよいか。

日程 6月16日(日) テレイン 七国峠

仮に承認すると以降七国峠は使えなくなる。

なお東大 OLK が3月に練習会で七国峠に入る申請をすでに出している。

東工 各大学がこのことを知る前に承認をとっていい問題ではない。

幹事長 ルールにはのっとっている。

OLK に公開練習会にしてもらうのはどうか。

事務局長 すべての大学が七国峠で練習することは不可能である。

幹事長 仮に承認しないとしても他団体が七国峠周辺のテレインに申請を出し同じような状況になるだろう。

なお承認された場合多摩 OL が4月に開く公開練習会に関東学連加盟員は参加できない。

ロングセレクションについて承認してもよいか

→全会一致(16)で承認

## 3. スプリントセレクションについて

幹事長 前回の総会から進捗はない。

渉外によって日程がずれる可能性はある。

#### 4. セレクションが中止された時の対応について

幹事長 今年度はロングセレ中止を予想しておらず、ロングセレ中止後に選考方法を考える必要があった。それをふまえミドルセレでは東大が提出した案を採用して、仮に中止になった時の対応を図った。

来年度以降セレクション中止時の対応を考える必要があるが、今年度は今年の結果を参考に代替案の妥当性を精査し来年度に引き継ぎたい。

##### ロングセレ

男子はスプリントセレの各レーン上位28名の所属を踏まえ各団体にエリート枠を割り振った。女子は推薦基準を満たす選手は通過、ほかの枠を推薦。

今年度のインカレロングの結果を考える。

慶応 スプセレからとる人数を大きくしすぎたのではないか。2レーンから28人ずつ取ったということは関東の56位までをとったことになる。

幹事長 マイナー校でもボーダー争いをする大学を考慮し大きくとった。  
また大きくとることによってスプリント＝フォレストではないことを和らげる。

東工 枠の数は昨年度と変わっていないのでどのようにスプリントを参考にしても変わらなかった気がする。

東京 仮にスプセレの結果を参考にするなら上位に重みをつけるべき。

法政 推薦が多くなり負担を大きくかけたので何かしらのガイドラインをつくる必要がある。

幹事長 推薦を扱う外部機関を作る必要があるかもしれない。しかし東大OLKやKOLCなど人数が多い団体から何人選出するのかなどの問題が生じる。

慶応 単独で活動している大学をまとめて枠を振るのもいいのではないか。

幹事長 単体の大学をまとめるのが難しい。

事務局長 関わりのない大学内でランキングを作ることが難しい。

幹事長 枠を団体ごとで割り振ることでOLKのマイナー校とほかの小規模の大学で走れる可能性が変わる。

##### ミドルセレ

男子はインカレロングの学連枠獲得者を参考に各団体に枠を割り振った。女子は枠獲得者を通過、残りを推薦とした。

今年度ミドルセレクションの結果を考える。

関東学院 ミドルセレクションの結果を見ると東大の案より東大のエリート枠が減り墓団体は増えていることがわかる。

- 法政 インカレロングの結果を参考にする方法で女子は妥当であった。
- 東工 東大の案は上位層のみを考えており誤差が大きい気がする。
- 幹事長 今年度はロングセレクションが中止されたためインカレロングの結果を狭くとしたが、セレクションが行われればインカレロングの結果を大きめにとってもよさそう。
- 早稲田 今年度の東大案は小数点以下を切り捨てて考えたが今後小数点以下の切り捨ては妥当かどうかを考えないといけない。
- 慶応 関東学連の理念はより強い人を出すのかより多くの大学から出すのか。
- 幹事長 関東学連の使命は枠をとることであるであるが、ある程度妥当な方法を取れば枠を取れる実力の選手は全員出すことが可能。
- 日本学連が再来年度を目安にランキングを作成する。それをういて計算できるようにするまでのつなぎになる。

## 5. 国際大会代表選手の扱い

- 幹事長 国際大会を考慮しながらセレクションを行うことが難しい。よって日本代表に対し関東学連がセレクション通過を確約することセレクション日程を調整しやすくする。
- 筑波 WOC、WUOC の代表を無条件通過とすることに疑問が生じる。過去に WUOC 代表でセレクション通過しなかった事例がある。
- 幹事長 推薦で WOC 代表について議論するのは時間がかかる上に、議論した結果セレクション通過となる場合がほとんどである。セレクションの通過が確約されていない状況下海外で戦うのは厳しい
- WOC、WUOC 参加者はセレクションを無条件通過とする。
- 全会一致(20)で承認
- 筑波 スプリントとフォレストは別競技である。また今後スプリント専門でフォレスト通過になる可能性がある。
- 幹事長 前回の総会で話し合ったように上位者は両方の部門で結果を残している。スプリント競技の代表をフォレストのセレクション通過としてもよいか。また逆にフォレスト競技の代表をスプリントのセレクション通過としてもよいか。
- 賛成 19 反対 1 で承認

## 6. 日本学連から

- 幹事長 テレインンの渉外方法の確認
- アンチドーピング委員会のメンバー募集

## 7. 来年度の新歓・ペアOについて

ペアO日程

5/26

トレイン候補 赤根 しろやまこ 北山 菅生 メッツァ

運営責任者 池ヶ谷 みのり (一橋)

競技責任者 田中 瑠偉 (法政)

アドバイザー 宮本 和奏 (副幹事長)

## 8. 対抗戦・定例戦について

普及部長 今年度は対抗戦が多く参加人数が少ない対抗戦もあった。来年度は参加者数が多い対抗戦を残すべき。

話し合いの結果来年度は以下の対抗戦を行う予定。()は運営

早葉(筑波)、オール早慶(千葉)、東葉東工農工(OC)、早筑東工(KOLC)、東関東(東工)、東大 vs 早慶(東工、農工)、(葉電農)定例戦(OLK)、いばのこ(筑波)

## 9. その他

幹事長 全日本スプリント運営を学生側が運営できないものか。

スプリントトレインの代表は大学のキャンパスではないか。

副幹事長 学生でも全日本スプリントでたい人はいるのではないか。

事務局長 全日本スプリントの前に公認スプリントを運営できるようになるべき。

学生は主体で運営するべきではなく、あくまで希望者が運営を手伝うのがいいのではないか。

幹事長 全日本ミドルが学生によって運営されていることから今後様々な可能性を考えていくことができる。

## 10. 次回総会日程と議長選出

日程 3/30(土)

場所 東大駒場キャンパス

議長 伊地知(千葉)